

学校保健委員会が開かれました



2月8日（月）に、学校保健委員会が開催されました。参加者は、学校医の相場利一先生、学校精神科医の青木楊子先生、学校薬剤師の板橋真澄先生、保護者代表として小学部から2名御出席いただき、学校からは12名が参加しました。

保護者のみなさんや学校職員からいただいた御質問について、学校医の先生方から御指導いただきました。



■いつまでも鼻をほじるのをやめられないのですが、どうしたらいいのでしょうか？



いつまでもやめられないということは、鼻の病気の可能性より、鼻をほじることがくせになっているのではないのでしょうか。特に手の届く範囲というのは習慣になりやすいものです。鼻血が出るほどほじるのは止めるべきですが、誰にでもくせはあるので時々やるのは仕方ないと思います。

やめなさいと叱るのは逆効果になるので、「やらないほうがいいよ」と声かけする程度がよいと思います。自分でコントロールできるようになれば、くせは減らしていけます。恥ずかしいという気持ちが出てくれば、場所や見た目を教え、人前で行なわないようにしていければよいと思います。

ストレスにより髪の毛や眉毛を抜いてしまう行為については、抜毛症という病名がありますが、鼻をほじる行為には病名がありません。鼻をほじると鼻くそがたまりやすくなり、たまると不快感でまたほじってしまうという繰り返しになっているかもしれません。



- テレビを近くで見たりします。両親とも視力が悪いため、本人も視力が悪いのかもしれませんが。視力検査をする方法があれば聞きたいです。

テレビを近くで見たがるのは、視力が悪い可能性があります。眼科での精密検査を行なうことをおすすめします。



- 行動を安定させるための薬を服用しています。朝の体調によって飲まない日があっても良いのでしょうか？



定期的に服用するよう指示されているものは必ず服用しましょう。今日は調子がよく落ち着いているからといって、飲ませなくて良い薬はありません。心配なことがあるなら主治医に相談しましょう。減薬から薬が不要になることもあると思います。

どんな薬を飲んでいるか分らないですが、日によって飲んだり飲まなかったりするのはいくつかのことです。

薬の必要性については、主治医からしっかりと説明してもらい、副作用が出ているなら、その症状を主治医に話しましょう。



■小さい頃小児てんかん発作があり、完治したのですが、思春期に再び発作がでることはあるのでしょうか？また、思春期の女の子なのですが、発語が難しいため、イライラしているときなど、奇声を上げて表しているような気がします。気持ちを落ち着けるような薬や方法がありますか？



思春期にホルモンバランスが崩れ、てんかん発作が起きることはあまりないと思います。しかしなにかいつもと違うような変化などが見られたときは、一度受診し相談してみるのもよいと思います。

ホルモンバランスの崩れにより、てんかん発作が起きる可能性は低いと思います。しかし、精神活動が活発になると、発作が起こりやすくなります。また、自分の感情を言葉にできない場合は、代わりに行動に表れるので、それぞれにあった自己表現の方法を見つけていくことも必要ではないかと思います。



■てんかんについて、特徴やどんな治療方法があるか教えてください。



てんかんがあると怒りっぽくなることがあります。治療方法として、抗てんかん薬の服薬で発作を抑えることができますが、側頭葉てんかんの場合については手術を勧めます。手術適応かどうか判断し、手術を行なう場合は、手術のできる限られた病院で行なうことになります。手術を行なっても、服薬は続けることもあります。どんな治療を行なっていくかは主治医の先生とよく相談することが大切です。

保護者、教職員からの質問事項の他に、本校の児童生徒の健康状態について、医療的ケアについて等を学校側から報告をしました。また、当日出席できなかった眼科医の中静先生からは事前に質問に対する回答をいただきました。

出席いただいた保護者の方々、ありがとうございました。

